

芸備線に乗ろう！

市民生活課市民生活係 ☎0824・73・1154

開業から100年以上の歴史を刻んできた芸備線。鉄道は、日常生活に欠かせない生活交通として、学生や高齢者などに利用されるとともに、観光などによる地域の活性化に必要な交通基盤です。市は、これまで芸備線の利用促進事業を実施してきました。本年度は、観光プロダクトの開発や、ローカルダイブトレインなどの観光客誘致のための事業、市や県と住民が一体となって利用促進を行う「芸備線・木次線利用促進協議会」の活動などに取り組みんでいます。今回は、芸備線の秋の増便や、利用促進に向けた取り組みなどを紹介します。

みんなで盛り上げ、芸備線・木次線を守りましょう。



庄原ライナーの運行

昨年引き続き、広島・備後庄原駅間を走る「庄原ライナー」が運行されます。運行日には、備後庄原駅でのお出迎えや、市内周遊案内を計画しています。

運行期間

10月22日(土)～12月11日(日)の土日祝日

【計18日間】

運行時間

7時33分 広島駅発

9時45分 備後庄原駅着

※三次駅での乗り継ぎなしで備後庄原駅へ到着します。

※運行時間は変更になる可能性があります。

芸備線おもてなしイベント

芸備線沿線4市(庄原市・広島市・安芸高田市・三次市)によって構成される「芸備線対策協議会」は、芸備線の魅力をより多くの人に知ってもらうため、「芸備線おもてなしイベント」を開催します。

本市では、庄原ライナー運行初日に合わせて、備後庄原駅前「駅前フェスタ」を開催します。

当日は、弁当やスイーツの販売のほか、ワークショップ、ステージ発表を行います。

また、芸備線に乗ってイベントに来た人には、限定オリジナルグッズをプレゼントします。ぜひ芸備線を利用してお越しください。

とき 10月22日(土)

ところ 備後庄原駅周辺

運賃の助成

市は、芸備線・木次線の対象区間を利用する市民グループへの運賃助成を行っています。

芸備線グループ利用助成金

対象者 市民を含む4人以上のグループ

助成対象区間 芸備線・木次線・伯備線の次の区間

①三次駅から備中神代駅まで

②木次駅から備後落合駅まで



③新見駅から備中神代駅まで

※この区間を越えて利用した時は、対象区間のみ助成対象とします。

助成対象経費 市内の駅を出発駅または到着駅とする、片道または往復の普通旅客運賃

助成金 対象経費の3分の2以内で上限3万円

※運賃に係る他の補助金との併用はできません。

申請方法 列車を利用した日から10日以内に、領収書をお持ちの上、市民生活課または各支所市民生活係に申請してください。

市内で切符を買おう！

市内の駅で、JRの切符を購入することで、芸備線の収益につながります。みんなで買って芸備線を応援しましょう。

駅名	窓口営業日	窓口営業時間	購入可能切符
備後庄原	年末年始を除く毎日	7時10分～17時10分	乗車券 自由席特急券 指定券 定期券
備後西城		6時50分～17時40分	乗車券 自由席特急券
東城		7時10分～9時10分	乗車券 自由席特急券
小奴可		8時～17時	乗車券

利用促進事業 取り組み事例



ローカル線×新たな観光

8月20日、「ローカルダイブトレイン」モニターツアーを実施しました。このツアーは、本市の観光振興を図るとともに、芸備線の利用者を増やすことを目指し、庄原市芸備線・木次線利用促進協議会が主催したものです。新たな観光スタイルとして注目される「ローカル体験」をテーマに実施しています。

「ローカル体験」とは

地方都市や田舎に行き、土地の人と交流しながらその地域により深く踏み込み、文化、自然、食などに触れる体験です。観光客向けに飾ったものではなく、地域のありのままの姿に触れ、体験を楽しむ新たな観光スタイルは、世界的に広がっています。

本市は、里山の原風景といわれる農村景観をはじめ、ローカル体験に適した資源の宝庫です。また、ローカル鉄道は、旅情、広い車窓景観などからローカル体験との相性が良い移動手段といえます。

モニターツアー 当日の様子

広島市・呉市から参加した30人が、貸切列車で広島駅を出発し、備後庄原駅へ到着。庄原では5コースに分かれてさまざまな体験を行いました。



貸し切り列車はカーブ号！



①帝釈峡

地元ガイド、時悠館学芸員の案内で、帝釈峡の成り立ちや地元から見た帝釈峡の話聞きながら散策。



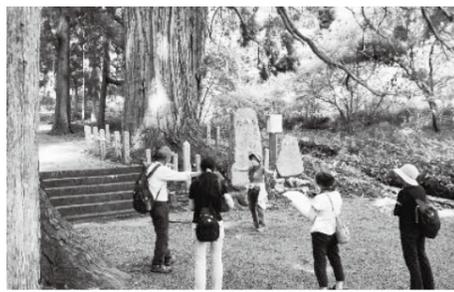
②比和町三河内

棚田テラスからの展望を楽しみながら、地域の人から日々の営みの中で景観が守られていることを聞いた。



③西城町八鳥

田んぼの水路を見学し、日々の水の管理やたたら製鉄との関係聞いた。その後こんにやく作りを体験。



④西城町熊野

地元の人の案内で、熊野神社を中心に、ゴキ養殖場など熊野地域全体のフィールドワークを実施。



⑤西城町油木

油木駅前までぶろくを作る高原酒造を訪ね、ぶろくのボトリングやパーベキューを楽しんだ。また、目の前を通過するトロッコ列車を見て楽しんだほか、木次線列車へ乗車。



最後は備後庄原駅前で記念撮影！

参加者にはアンケートを行い「地元の人との交流が素晴らしい。とても親切に対応してもらい感動した」「芸備線はゆったりとした時間が過ごせた。車窓からの景色も飽きることがない」と感想が寄せられました。

「ローカルダイブトレイン」は、芸備線・木次線の新たな活用可能性を切り開くとともに、庄原市が持つ魅力に改めて光を当てる、文化振興やシビックプライド(都市に対する市民の誇り)の醸成にもつながる取り組みです。今後もさらにモニターツアーを実施した後、継続的な取り組みへと展開していく予定です！